

人民币週間レポート

2024年11月15日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穂銀行

【人民元為替概況】

回顧: USDCNYは一時8月上旬以来の7.24台後半まで上昇

- ドル人民元(USDCNY)は11日、7.17台後半でオープン。週前半はドル買い元売り優勢で7.20を上抜け12日には一時7.24台まで上昇。米大統領選挙でトランプ氏が勝利を確実にしたことに加え、共和党が上下両院で多数派を確保するとの見方が強まり“トランプトレード”が再燃し、週を通して米金利上昇を背景にドルが全面高となる。また、中国景気の先行きや次期トランプ政権における対中姿勢も懸念され、USDCNYは14日に8月上旬以来となる7.24台後半まで上昇。ただ、週後半にかけては人民銀行仲値が7.19台に据え置かれたことでUSDCNYは上値重く推移し、15日の午前現在、7.23台で推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は11日、4.69台前半でオープン。トランプトレードによりUSDJPYが週初の152円台から156円台へ上昇したことでJPYCNYも円安に推移し、15日午前現在4.62台まで下落して推移している。

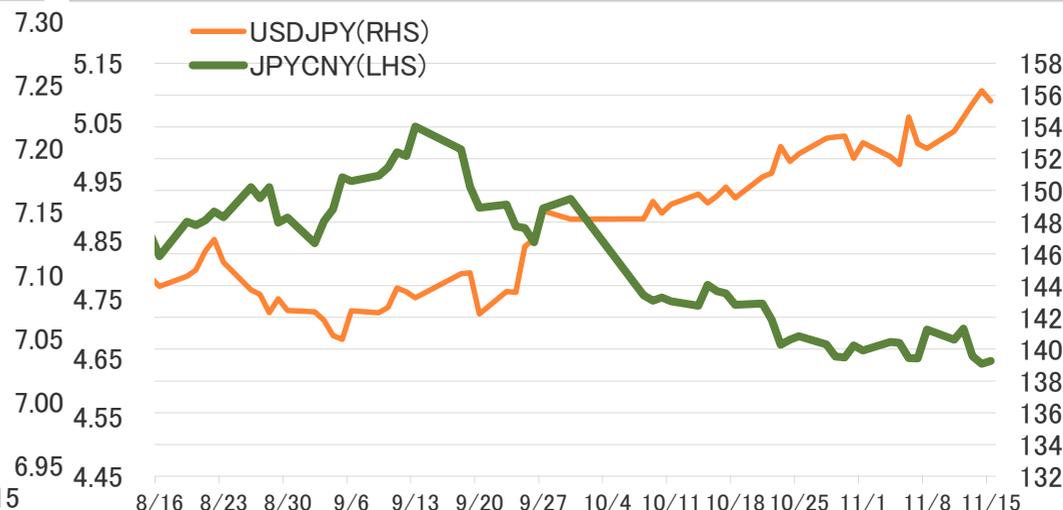
見通し: USDCNYは底堅い動きを予想

- 米国ではFRBパウエル議長が利下げに対して慎重な姿勢を示していることから、利下げ観測が後退しつつある。15日時点で、市場の利下げ織り込みでは12月の利下げ確率が約58%、2025年年末までの利下げ回数が約2.7回と、9月のドットチャートと比較すると利下げ回数は大きく減少している状況。トランプ次期政権発足に向けた動きと合わせてドル高圧力の強まりには引き続き留意したい。
- 他方、中国では足元のUSDCNYの急上昇を受けて、人民銀行仲値と市場予想の乖離が見られ始めた。7.20を突破したことでUSDCNYは高値圏で落ち着きを見せているものの、今後もドル高が主導して徐々に上昇し、年初来高値を目指す展開には警戒しておきたい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



【人民元金利概況】

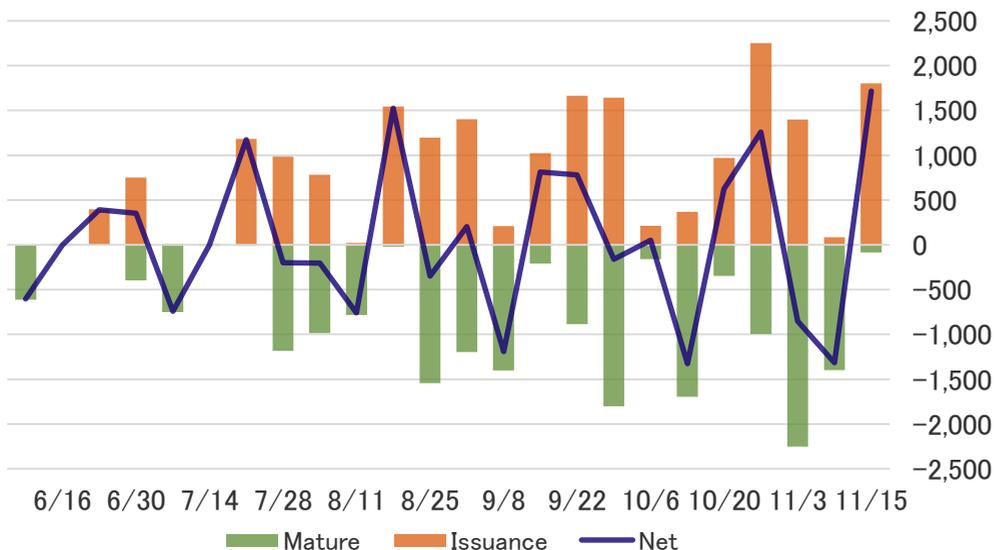
回顧: 資金流動性は潤沢な状態が継続

- PBOCは7日物リバースレポにより1兆8,014億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで1兆7,171億元の資金供給となった。また、MLFは1兆4,500億元の満期が到来となった。(今月の供給は25日と予想される)
- 資金市場では、MLFの供給日変更や税期等を背景に流動性が一時タイト化するも、PBOCより大口の資金供給が行われる中、週後半にかけて流動性は改善。
- 債券市場では、全人代常務委員会を経て、景気刺激策や国債増発等への懸念が一部後退したことを受けて、利回り低下。

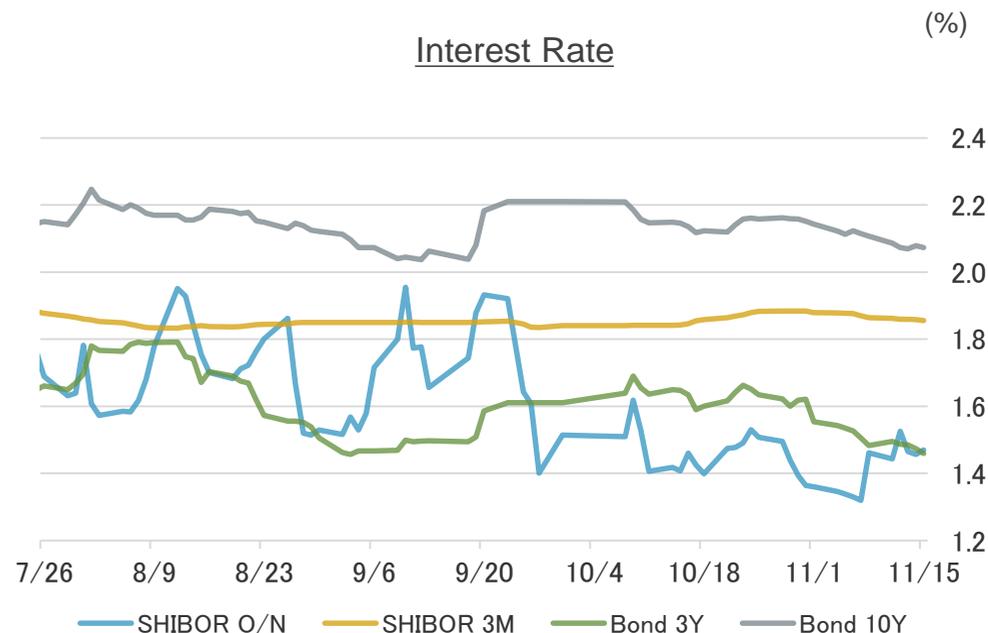
見通し: LPRは据え置きを予想

- 20日にはLPRの公表が予定されている。前回10月に引き下げを行ったばかりであることから今回は据え置きがメインシナリオと考えられるものの、内容には注目したい。
- 景気刺激策に対する期待が引き続き燃る中、今後も政府からの政策発表等には留意したい。

Injection of Repo/Reverse Repo (Total per week) (RMB Bio)



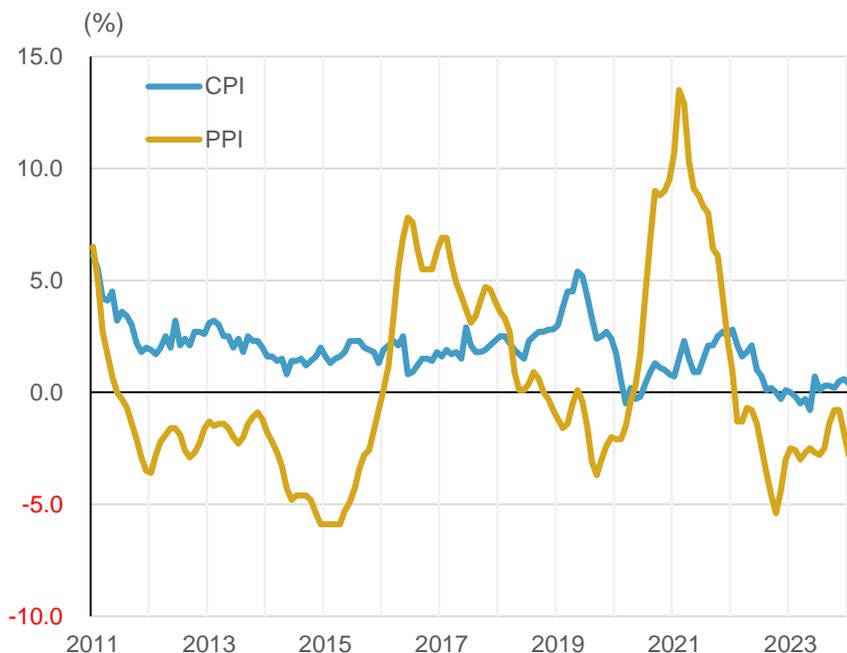
Interest Rate



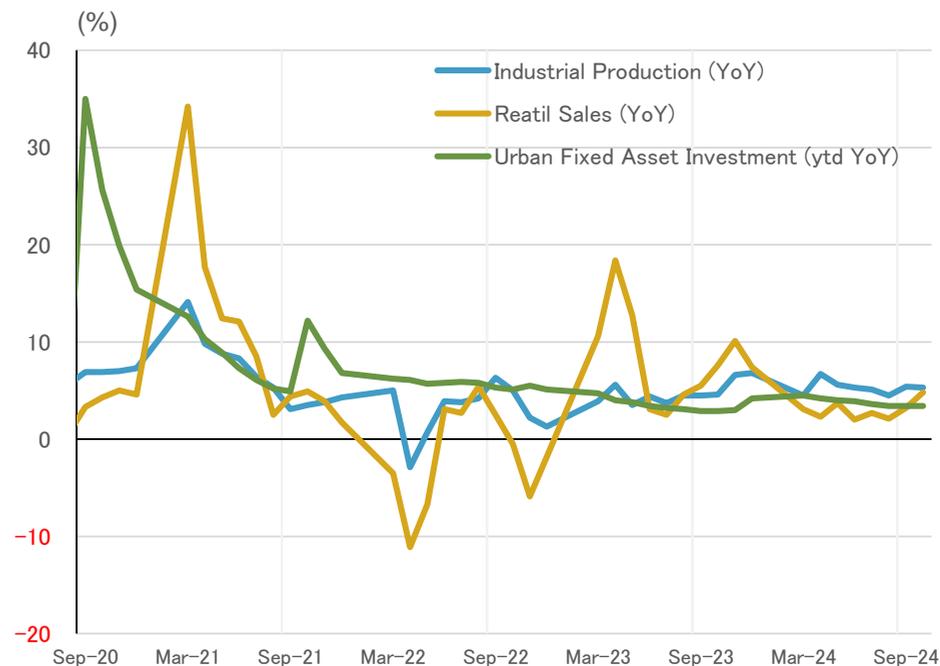
【TOPICS】 10月主要経済指標が公表

- 9日、国家統計局は10月CPIおよびPPIを公表した。CPIは前年同月比+0.3%（予想：+0.4%、前回：+0.4%）、PPIは同▲2.9%（予想：▲2.5%、前回：▲2.8%）となった。また、食品価格は同+2.9%（前回：+3.3%）、食品とエネルギーを除くコアインフレ率は同+0.2%となった。
- また、15日、国家統計局は10月国内主要統計の結果を公表。小売売上高が前年同月比+4.8%（予想+3.8%）、鉱工業生産が同+5.3%（予想+5.6%）、都市部固定資産投資が年初来前年比+3.4%（予想+3.5%）、不動産投資が年初来前年比▲10.3%（予想▲9.9%）となった。
- CPIはプラス圏を維持しているものの、食品価格の上昇率縮小が見られている他、PPIは25か月連続でのマイナス圏の推移となった。中国人民銀行金融政策委員会では「物価の合理的な上昇を促すことは、金融政策を実施する上で重要な考慮すべき点」との方針を示しており、利下げ等の金融緩和策公表には今後も留意したい。
- 国内主要統計では、小売売上高が大きく増加したことが好感された一方、不動産市場の低迷は引き続き見られる結果となった。トランプ氏の再選が中国の輸出に与える影響が懸念される中で、内需の動向には引き続き注目したい。

CPIとPPI



小売売上高・工業生産・都市部固定資産投資



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
11/11	7.1780	7.2160	7.1754	7.1899	7.1786
11/12	7.2122	7.2431	7.2122	7.2378	7.1927
11/13	7.2251	7.2350	7.2066	7.2252	7.1991
11/14	7.2291	7.2476	7.2256	7.2409	7.1966
11/15	7.2352	7.2423	7.2255	7.2310	7.1992

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
11/11	7.1970	7.2334	7.1864	7.2278	7.1950
11/12	7.2278	7.2555	7.2233	7.2430	7.2423
11/13	7.2433	7.2493	7.2131	7.2437	7.2300
11/14	7.2438	7.2665	7.2364	7.2538	7.2580
11/15	7.2532	7.2579	7.2306	7.2364	7.2405

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	11/11	LOW		HIGH	11/15
ON	1.4430	1.4430	~	1.5250	1.4700
1M	1.7970	1.7960	~	1.7970	1.7960
3M	1.8620	1.8560	~	1.8620	1.8560
6M	1.8930	1.8780	~	1.8930	1.8780
1Y	1.9160	1.8990	~	1.9160	1.8990

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.1780	7.2476	7.1754	7.2310
100JPY/CNY	4.6906	4.7132	4.6216	4.6456
EUR/CNY	7.7002	7.7036	7.6078	7.6334
HKD/CNY	0.92318	0.93112	0.92318	0.92911
GBP/CNY	9.2788	9.2900	9.1595	9.1684

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	152.67	156.75	152.64	156.27
EUR/USD	1.0719	1.0728	1.0497	1.0530
EUR/JPY	163.50	165.04	163.25	164.55
GBP/USD	1.2911	1.2926	1.2630	1.2666
AUD/USD	0.6586	0.6603	0.6441	0.6454

(数据来源: Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行